

報道関係者各位

2018年2月14日

## 福島や東北の東日本大震災からの復興を願って 大東建託本社の敷地で新種の桜「はるか」の植樹式を実施

大東建託グループの従業員と会社の共同基金である「大東建託グループ 未来基金」は、福島や東北の復興機運の風化防止に努めている『fukushima さくらプロジェクト』の活動に賛同し、2016年より支援を行っています。当プロジェクトの支援活動の一環として、「大東建託グループ 未来基金」は、2018年2月9日(金)に、復興のシンボルである新種の桜「はるか」の植樹を大東建託の品川本社敷地内で実施しました。当日は約50名の大東建託グループ社員、および『fukushima さくらプロジェクト』の関係者が植樹式に参加しました。



植樹式の様子



社員から募った未来へのメッセージを地中へ

### ■植樹式の開催概要

- ・開催日時 : 2018年2月9日(金)14時～15時
- ・開催場所 : 大東建託株式会社  
〒108-8211 東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー敷地内
- ・参加者 : 川合秀司(大東建託株式会社 常務取締役 経営管理本部長 兼 関連事業本部長) 他

### ■復興のシンボル「はるか」

「はるか」は、森林総合研究所が新たに開発し、2012年に福島県に寄贈された八重桜です。NHK大河ドラマ「八重の桜」に主演した綾瀬はるかさんに命名されました。これまで全国15ヶ所を超える場所で植樹されています。「はるか」には、福島・東北を応援するシンボルとして「はるかかなたの未来にまで広がって欲しい」という願いが込められており、当社もこの桜に込められたメッセージを広めていきたいと考えています。



「はるか」

写真提供: 森林総合研究所

### ■大東建託グループ社員による未来へのメッセージ

植樹した桜「はるか」は、20年後には立派な成木になります。植樹に際して20年後の大東建託グループに対する希望や期待を込めた未来へのメッセージを大東建託グループの社員に募ったところ、294枚ものメッセージが集まりました。メッセージを記入した用紙は水溶性で、植樹の際に苗木とともに全て地中に埋め、これから成長する桜へその想いを託しました。

グループ社員による  
未来へのメッセージ例

## ■『fukushima さくらプロジェクト』によるプロジェクションマッピングイベント

『fukushima さくらプロジェクト』では、「はるか」の植樹活動のほかに、東日本大震災からの復興を願い、福島や東北、さらには全国を応援する目的でプロジェクションマッピングを使った大規模なイベントを毎年実施しています。2018年は、会津若松市(鶴ヶ城)と白河市(白河小峰城)の2つの会場にてプロジェクションマッピングイベント「はるか2018 ～戊辰の風 花の雲～」を行う予定です。

### <会津若松編>

開催時期:2018年3月23日(金)-24日(土)

開催地 :〒965-0873 福島県会津若松市追手町1-1(鶴ヶ城)

### <白河編>

開催時期:2018年4月7日(土)

開催地 :福島県白河市郭内1(白河小峰城)

2018年度「はるか2018 ～戊辰の風 花の雲～」公式HP URL

<http://www.fukushimasakura.jp/2018/index.html>

### <前回開催時の様子>



【会場の南湖公園】



【ウォータースクリーンに映像を投影】



【地元太鼓グループによる演奏】

## ■「大東建託グループ みらい基金」とは

大東建託グループは、従業員と会社の共同基金である「大東建託グループ みらい基金」を2015年4月に設立し、「地方創生」や「災害復興」に寄与する活動・団体を支援しています。

当基金は、東日本大震災の遺児支援を目的に、2012年5月に設立された「大東建託グループあしなが基金」から目的と名称を変更したものです。基金に参加する従業員からの積立金とあわせ、従業員による積立金と同額の会社寄付や株主様からの寄付で当基金は成り立っています。

全国で事業を行う大東建託グループにとって、元気で魅力あふれる街は欠かせません。今後もみらい基金の活動を通して、地域の皆さんと交流する機会を作り、活気あふれる街づくりに寄与してまいります。

詳細ページURL : <http://www.kentaku.co.jp/mirai/>



<本件に関するお問い合わせ>

大東建託株式会社 経営企画室 広報CSR課 TEL:03-6718-9174